

- 問1 日本の産業構造において、自然界から採取した資源を加工して製品を作る産業は「第二次産業」に分類されます。この第二次産業に含まれる業種の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 農業・林業                      2. 金融業・保険業                      3. 製造業・建設業                      4. 運輸業・通信業
- 
- 問2 滋賀県の琵琶湖におけるニゴロブナやセタシジミ、島根県の宍道湖におけるワカサギやシジミを対象に行われている「栽培漁業」について、この取り組みが行われる背景にある目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 水産資源を保護・回復させることで、将来にわたって持続可能な漁業を実現すること                      2. 魚を狭い生け簀の中で集中的に育てることにより、餌の費用などの管理コストを削減すること                      3. 限られた期間で大量の成魚を生産し、海外への輸出額を最大化させること                      4. 自然の生態系を完全に人工的な管理下に置き、外来種の繁殖を促進すること
- 
- 問3 現代日本の交通網において、道路網の整備や自家用車の普及、トラック輸送の拡大により、鉄道に代わって旅客輸送量と貨物輸送量の両面で最大のシェアを占めるようになった交通手段を何といえますか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 船舶による輸送                      2. 航空機による輸送                      3. 新幹線による輸送                      4. 自動車輸送
- 
- 問4 日本においてエネルギー資源としてのメタンハイドレートの活用が注目されている理由と、実用化に向けた現在の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素を全く排出しないクリーンエネルギーであるため、地球温暖化対策の切り札として政府が全面的に導入を進めている。                      2. 北米を中心に開発が進んでいる新しいエネルギー資源であり、日本でも輸入価格を抑えるための代替燃料として注目されている。                      3. 日本の排他的経済水域内に豊富に存在するため国産資源として期待されているが、採取コストや環境への影響が課題となっている。                      4. 浅い海域の地層に大量に埋蔵されていることが判明したため、既存の石油掘削技術をそのまま転用して安価に生産できる見通しが立っている。
- 
- 問5 日本の農業において、太平洋沿岸などの温暖な地域の傾斜地が、みかんの栽培に適している理由として最も適当な説明を選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 標高が高い斜面では、夏の厳しい暑さを避けて冷涼な気候を好む果実を育てやすいため                      2. 山間部は平地よりも霧が発生しやすく、果実が乾燥するのを防ぐのに適しているため                      3. 傾斜があることで大規模な農業機械の導入が容易になり、生産効率が高まるため                      4. 太陽からの直接の光に加え、海や石垣からの反射光を受けやすく、水はけも良いため
- 
- 問6 1960年代以降の高度経済成長期において、東京などの大都市圏では、都心部の地価が高騰し、生活環境も変化したことで、居住人口が減少しました。その一方で、鉄道沿線の郊外には大規模な住宅地である「ニュータウン」が開発され、多くの人々が移り住んだため、都市全体の人口分布が環状（わっか状）になりました。このような人口移動の現象を何と呼びますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 過疎化現象                      2. ドーナツ化現象                      3. 限界集落の形成                      4. スプロール現象
- 
- 問7 都道府県別の発電方法別発電量を示した統計において、千葉県や長崎県などの数値が低いのに対し、富山県（約9,300百万kWh）や長野県（約7,373百万kWh）の数値が突出して高くなる傾向にある発電方法として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 水力発電                      2. 地熱発電                      3. 原子力発電                      4. 火力発電
- 
- 問8 日本の重化学工業の分布において、千葉県、三重県、岡山県、大分県といった太平洋や瀬戸内海の沿岸部に、石油化学コンビナートが集中して立地している主な理由を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 内陸部での工場建設が法律で制限されたため、広大な土地を確保しやすい埋め立て地を中心とした臨海部へ拠点を移したため。                      2. 原料となる原油のほぼ全量を海外からの輸入に頼っており、大型タンカーが直接接岸して効率よく荷揚げを行う必要があるため。                      3. 製品の原料となる石炭が日本の沿岸部で大量に産出されており、採掘現場から直接工場へ搬入するのに都合がよいため。                      4. 工場の稼働に必要な電力を大量に確保するため、水力が豊富な内陸部の急峻な河川に近い場所が選ばれたため。
- 
- 問9 日本の輸出において、航空輸送を利用する主な品目として適切なものはどれですか。航空輸送貨物全体の約18%を占める代表的な品目と、それに次いで割合の高い品目の組み合わせを選びなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 液化天然ガス（LNG）と、石炭                      2. 自動車と、鉄鋼                      3. 木材と、パルプ                      4. 半導体などの電子部品と、科学光学機器
- 
- 問10 南アメリカのブラジルでは、広大な土地を利用してサトウキビの栽培が盛んに行われ、それを原料としたバイオ燃料が自動車の燃料として広く普及しています。このように食料としても利用可能な農産物をエネルギー資源として活用する動きについて、世界的な課題となっている点として適切な説明はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 燃料としての需要が急増することで、食料としての供給が不足したり、穀物価格が高騰して途上国の生活を圧迫したりする懸念がある                      2. 原料となる植物を大量に育てることで大気中の二酸化炭素が吸収されすぎ、地球全体の気温が急激に下がる寒冷化の懸念がある                      3. バイオ燃料は化石燃料に比べてエネルギー効率が非常に低いため、普及すればするほど世界中で深刻なエネルギー不足に陥る懸念がある                      4. サトウキビの栽培には大量の農薬が必要であり、その結果、ブラジルの輸出農産物すべてが国際市場で取引禁止になる懸念がある
- 
- 問11 岩手県（約59パーセント）や鹿児島県（約65パーセント）の農業産出額において、共通して過半数を占めている品目として正しいものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 野菜                      2. 畜産                      3. 米                      4. 果実
- 
- 問12 都道府県別の農林水産物産出額の統計において、米の産出額が1078億円と突出して多く、一方で果実が89億円、漁業が27億円となっている都道府県として、最も適当なものを次から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 秋田県                      2. 三重県                      3. 和歌山県                      4. 宮城県
- 
- 問13 少子高齢化が進み、人口ピラミッドにおいて生産年齢人口（15歳から64歳）の割合が減少していく日本の社会において、今後懸念される社会保障制度の課題として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 現役世代の減少により、年金や医療などの費用を支える一人あたりの負担が重くなる。                      2. 若年層の人口が急増するため、義務教育の施設整備にかかる公的支出が大幅に増加する。                      3. 労働力人口が過剰になることで、都市部における若者の失業率が深刻な社会問題となる。                      4. 高齢者の割合が低下するため、介護サービスの需要が減り、関連する国家予算が余る。